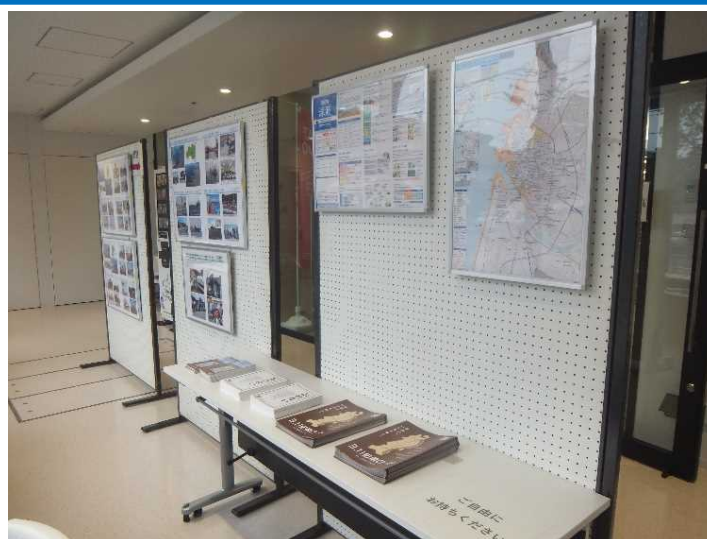


- 3月8日(月)～3月15日(月)までの間、酒田市役所1階のフリースペースにて「～東日本大震災から10年～みなとのパネル展」を開催しています。
- 東日本大震災から10年という節目を迎え、震災の教訓を忘れず次の世代へと語り継いでいくため、災害発生時から航路啓開、施設復旧完了までの「みなと」の様子を紹介しています。
- また、共催者の酒田市より、当時の酒田市による支援活動や、新しい津波ハザードマップ(令和2年3月に酒田市に津波災害警戒区域が指定されたことに伴い作成)の紹介を行っています。
- 2年前の令和元年6月に発生した山形県沖地震の際、震度6弱を観測した鶴岡市温海地域では、津波に備えて住民の約9割が避難しましたが、その半数が「東日本大震災」を思い起こして避難に至ったとのことです。  
出典:東北大学災害科学国際研究所佐藤准教授「酒田市の津波防災を考える」講演資料
- 酒田港周辺にも、津波浸水想定区域が広がっており、地震発生時には速やかな避難が必要です。将来の災害に備えるために、ぜひ多くの方にご覧いただければと思います。

開催場所等の詳細はこちら⇒[http://www.pa.thr.mlit.go.jp/sakata/press/pdf/press\\_20210224.pdf](http://www.pa.thr.mlit.go.jp/sakata/press/pdf/press_20210224.pdf)



パネル展の開催状況①



パネル展の開催状況②



パネルを見学している様子